

2014年9月22日

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン労働組合
中央執行委員長 木之下 幸三殿

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社
代表執行役員 社長 ロベルタ・パラツェッティ

2014年9月17日付「営業組織改編に伴う降格人事に関する抗議申入れの件」への回答

貴組合より送信された2014年9月17日付「営業組織改編に伴う降格人事に関する抗議申入れの件」に対して、下記の通り回答します。

記

1. 2015年からの営業組織改編に伴い、G34以上の組織体系についても見直しを行い、議論を社内で重ねた結果、G34のポジション数を減らさざるを得ないという決断に至りました。
2. 決定されたポジション数に対して、G34の社員の処遇をどうするかを検討を重ねた結果、以下の点を鑑み、降格人事を行うという結論に達しました。
 - A) 最大限、社員の雇用を守る観点
 - B) 更なる希望退職を実施することによって生じる、社員の雇用不安、組織のモラル低下を防ぐ観点
3. 降格人事実施対象者を選定するにあたっては、過去3年間、および本年上半期のパフォーマンスと、グループ全体で決められたリーダーシップ項目をもとに、複数人で議論した結果の選定とすることにより、忝意性を出来る限り排除した方法で選定をいたしました。
4. 実施対象者への説明に際しては、ラインマネージャーと人事担当で、最大限の配慮を持って事情を説明させていただきます。
5. 組合として不満を持たれ、結果として抗議を頂いた事は、会社としては大変遺憾に思いますが、今後も良好な労使関係を維持していきたいと考えております。

以上